

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council News

「PICK UP」

東京
国立劇場
(小劇場)



初代国立劇場
さよなら公演

好評発売中

12月6日(火)～19日(月)※下記日程表参照

12月文楽公演

料金 1等席6,500円 2等席5,500円

12月文楽鑑賞教室

料金 一般4,500円 学生1,800円

12月文楽公演

壮大なスケールの名作。息をもつかせぬ一大史劇の展開にご注目！

14時・17時開演

本朝廿四孝

【二段目】

信玄館の段
村上義清上使の段
勝頼切腹の段
信玄物語の段

【四段目】

景勝上使の段
鉄砲渡しの段
十種香の段
奥庭狐火の段
道三最期の段



◎字幕表示あり

12月文楽鑑賞教室

解説と名作の舞台をセットで！気軽に文楽を楽しめます。

11時・14時・18時30分開演

解説 文楽の魅力

絵本太功記

夕顔欄の段／尼ヶ崎の段



◎プログラム・鑑賞のしおり付、字幕表示あり

通常の文楽鑑賞教室と同様の内容・出演者・料金でお楽しみいただけます。

社会人のための文楽鑑賞教室

お勤め帰りにおすすめの公演です。

12月8日(木)・9日(金)
18時30分開演

Discover BUNRAKU

—外国人のための文楽鑑賞教室—

解説は英語バージョン、ゲストを迎えてお届けします。

12月12日(月)
18時30分開演
◎英語字幕あり
◎英語・日本語のイヤホンガイド、
6か国語のプログラム付。

【公演・鑑賞教室日程】

12月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11:00	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
14:00	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
17:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18:30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○文楽公演 □文楽鑑賞教室 ◎社会人のための文楽鑑賞教室

☆Discover BUNRAKU —外国人のための文楽鑑賞教室—

上演時間＝文楽公演：約3時間35分／文楽鑑賞教室：約2時間20分（休憩を含む）

東京
国立演芸場



初代国立演芸場
さよなら公演

第464回 国立名人会

12月25日(日) 13時開演(16時終演予定)

料金 3,300円

販売 好評発売中

講談 「天明白浪伝 悪鬼の万造」

神田 阿久鯉

落語 「宗論」

三遊亭 遊 雀

落語 「二番煎じ」

瀧川 鯉 昇

—仲入り—

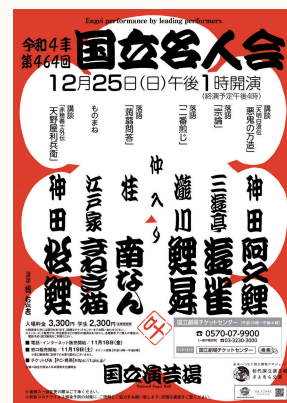
落語 「菟藟問答」

桂 南なん

ものまね 江戸家 まねき猫

講談 「赤穂義士外伝 天野屋利兵衛」

神田 松 鯉



東京
国立能楽堂

1月定例公演

「隠狸」「東北」

令和5年1月20日(金) 17時30分開演(20時終演予定)

料金 5,000円(正面)・3,300円(脇正面)・3,000円(中正面)

販売 《電話・インターネット予約》12月10日(土)10時より
《窓口販売》12月11日(日)より

狂言【和泉流】

隠 狸 石田 幸雄

能【観世流】

東 北 浅井 文義

【隠狸】狸釣りが得意な太郎冠者は内緒で獲った狸を主人に知られないように隠します。しかし、主人に酒を勧められ盃を重ねるうちに舞を舞い始めて…。

【東北】都の東北院に今を盛りと咲く、和泉式部が愛でた「軒端の梅」。花の蔭から現れた式部の霊は旅の僧に和歌の徳を語り、東北院の風致を愛でつつ静かに舞を舞います。多くの歌に彩られた春宵の夢幻能です。



《国立能楽堂は、令和5年9月に開場40周年を迎えます》

チケット
お申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

☎ 0570-07-9900/03-3230-3000[一部IP電話等](10時～18時)*

国立劇場チケットセンター 検索

*年末年始の営業については裏表紙・ホームページをご確認ください。

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999 (10時～18時)*

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ ☎ 098-871-3350 (10時～17時30分)*

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問い合わせください。 本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。

東京			大阪			東京			沖縄		
☎0570-07-9900 (10時～18時) チケット お申込み国立劇場チケットセンター 検索			☎0570-07-9900 (10時～18時) チケット お申込み国立劇場チケットセンター 検索			☎03-5352-9999 (10時～18時) チケット お申込み新国立劇場 検索			☎098-871-3350 (10時～17時30分) チケット お申込み国立劇場おきなわチケットカウンター 検索		
12月 国立劇場			12月 国立文楽劇場			12月 新国立劇場			12月 国立劇場おきなわ		
大劇場		小劇場	文楽劇場		小ホール	オペラパレス		中劇場	大劇場		小劇場
1 木		白百合会 ▶「白百合会」事務局 03-5936-1553	上席 (1日～10日) 13:00			1 木		s**t kingz「HELLO ROOMIES !!!」凱旋公演 ▶キョードー横浜 045-671-9911	19:00	1 木	
2 金			立川談笑独演会 ▶夢空間 0570-06-6600		第11回佐久間二郎能の会 ▶佐久間二郎 「三曜会」 042-316-4860	2 金			19:00	2 金	
3 土			三遊亭遊馬独演会 ▶三遊亭遊馬 090-6542-1647		第2回 楽市楽座 ▶ACT.JT 03-6914-0325	3 土		14:00 オペラ研修生による「NNTT LE PROMESSE 2022」	13:00	3 土	14:00 第12回若手伝承者公演「手水の縁」 ▶事務局 糸満市南山組踊保存会 090-8292-2266 ▶韓国文化の日 in 沖縄 ▶韓国文化院 03-3357-6055
4 日			第26回 小遊三の会 ▶大有企画 03-3801-6799			4 日			13:00	4 日	琉球舞踊 志田房子の会 ▶沖縄タイムス社 098-860-3588
5 月			真一文字の会 ▶歌舞伎座 03-6277-7403			5 月			休演日	5 月	
6 火			～春風亭一之輔独演会～ 03-6277-7403			6 火	18:30		14:00	6 火	
7 水			第36回 久習會 ▶久習會事務所 03-3800-4606			7 水	休演日		14:00	7 水	
8 木			13:00 [定例] 狂言「素袍落」能「逆才」			8 木	14:00		14:00	8 木	
9 金			13:00 [普及] 狂言「内沙汰」能「竹雪」			9 金	休演日	オペラ公演 「ドン・ジョヴァンニ」	19:00	9 金	
10 土			中席 (11日～20日) 13:00 ※17日(土)は貸切です。			10 土	14:00		13:00	10 土	
11 日	国立劇場オープンシアター ※裏表紙参照		わん丈ストリート ▶劇場前座 03-6277-7403			11 日	14:00		13:00	11 日	14:00 沖縄本島民俗芸能祭「南風原の村遊び」
12 月		Discover BUNRAKU 6日(火)～19日(月) ※13日は休演 ※日程・上演時間は表紙の日程表参照	（舞小唄）一夫四舞 一龍志 ▶いかぐみ 03-6909-4101		東京能楽囃子科協議会 定式能12月公演 ▶東京能楽囃子科協議会 03-6804-3114	12 月	休演日	「スクールアイドルミュージカル」 ▶インフォメーションデスク https://information-desk.info/	休演日	12 月	
13 火			忠臣蔵の世界 神田松隠 ▶オフィスひさふに 03-5392-8486			13 火	14:00		14:00	13 火	
14 水		文楽鑑賞教室 6日(火)～19日(月) ※13日は休演 ※日程・上演時間は表紙の日程表参照	桂雀々独演会 ▶ときめきチケットセンター 03-6300-6510			14 水			14:00	14 水	
15 木			年忘れ！ 白酒ひとり ▶ネイティブランブーン			15 木			19:00	15 木	
16 金			17:30 [定例] ◎演出の様々な形 狂言「樋の酒」能「天鼓」			16 金			19:00★	16 金	かりゆし芸能公演 ▶玉城流でだ・いずみ会 清輝清泉 090-8294-6628
17 土		解説 文楽の魅力 絵本太功記				17 土		丸美屋食品ミュージカル「アニークリスマスコンサート」 ▶キョードー東京 0570-550-799	13:00★ 18:00★	17 土	14:00 組踊「北山敵討」 ▶喜納幸子道善公演 ～恋し花染～ 090-3324-9758
18 日						18 日			13:00	18 日	浦添市古典芸能琉球舞踊協会 ▶浦添市古典芸能琉球舞踊協会 090-5488-7151
19 月						19 月				19 月	
20 火			13:00 特別企画公演「年の瀬に新作を聴く会」			20 火				20 火	
21 水						21 水				21 水	
22 木						22 木				22 木	
23 金			13:00 [狂言の会] ◎千利休生誕五百年 狂言「御茶の水」 謡曲「山伏」 舞踊「熊手」			23 金	19:00			23 金	伶楽舎 ▶東京コンサーツ 03-3200-9755
24 土		第6回 亜爽会 ▶藤岡亜寿賀 080-4401-6801	13:00 第525回 花形演芸会		み絨之會 ▶み絨之會 090-6213-0071	24 土	13:00			24 土	
25 日		第七回 水木佑歌の会 ▶水木佑歌 090-3917-7770	13:00 第464回 国立名人会		第八回 花乃公案 ▶花乃公案事務局 03-3401-2285	25 日	13:00 18:00			25 日	
26 月						26 月	休演日	バレエ公演 「くるみ割り人形」 12月23日(金)～ 2023年1月3日(火)		26 月	
27 火						27 火	休演日			27 火	
28 水						28 水	19:00			28 水	
29 木						29 木	13:00 18:00			29 木	
30 金						30 金	休演日			30 金	
31 土						31 土	16:00			31 土	

今月・来月の注目はこちら

PICK UP

国立劇場

初春歌舞伎公演 初代国立劇場さよなら公演 とおやまろくでんぼろにつき 通し番 遠山桜天保日記 歌舞伎の恩人・遠山の金さんー

令和5年1月3日(火)～27日(金) ※11日(水)、19日(木)は休演

出演 尾上菊五郎 尾上松緑 尾上菊之助 中村時蔵 ほか

初代国立劇場最後の初春歌舞伎公演は名奉行「遠山の金さん」が登場！旗本ながら芝居小屋に身を置いた遠山金四郎が町奉行となって活躍。印象的な悪党を絡め、遠山が名裁きを下すまで多彩な登場人物と物語を繰り広げます。菊五郎の金四郎ほか魅力的な配役で、年の初めに痛快な娯楽作品をお楽しみ下さい。

料金 1 等席12,000円／2 等席8,000円／3 等席3,500円

販売 《電話・インターネット予約》12月13日(火)10時より 《窓口販売》12月14日(水)10時より

国立文楽劇場

文楽

令和5年初春文楽公演 令和5年1月3日(火)～25日(水) ※13日(金)は休演

【第一部】11時開演 良弁僧正千二百五十年御遠忌 良弁杉由來 志賀の里の段 桜の宮物狂いの段 東大寺の段 二堂月の段

【第二部】14時開演 義経千本桜 椎の木の段 小金吾討死の段 すしやの段

【第三部】17時30分開演 傾城恋飛脚 新口村の段 壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段

料金 5,500円 (1 等席)・3,500円 (2 等席)

販売 《電話・インターネット予約》12月8日(木)10時より 《窓口販売》12月9日(金)10時より

新国立劇場

演劇

【未来につなぐもの】Ⅱ「夜明けの寄り鯨」 12月1日(木)～18日(日) ※5日(月)、12日(月)は休演

【作】横山拓也 【演出】大澤 遊 日本劇作家の新作をお届けするシリーズ企画、【未来につなぐもの】の第二弾として、いま注目の劇作家・横山拓也の新作をおくりします。和歌山県の港町を舞台に、25年前に自分が傷つけたかもしれない男性の面影を追う、一人の女性のこころの物語です。ひとのこころの内面を静かに描く、まさに横山ならではの劇世界です。

料金 A席7,700円／B席3,300円／Z席(当日のみ)1,650円

販売 好評発売中

国立劇場おきなわ

組踊公演

「北山敵討」 12月17日(土)14時開演

琉球王国時代から伝わる本作は、御冠船踊りでの上演を機に明治以降も芝居小屋で上演され、また、沖縄県の各地の村芝居でも演じられている人気の高い長編作品です。今回は指導に技能保持者の島袋光晴氏・中村一雄氏を迎え、台本の詞章を潤愛することなく、国立劇場おきなわ自主公演として初めて全編通しての上演となります。ぜひ、この機会にお楽しみください。

料金 3,500円

販売 好評発売中

展示情報

伝統芸能情報館 (国立劇場敷地内)
「国立劇場所蔵 上方浮世絵展」
開催中・令和5年4月9日(日)まで



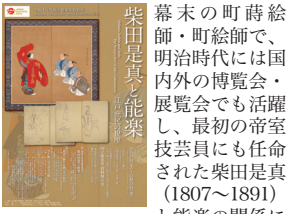
上方(大阪・京都)では江戸より遅れること約一世紀、18世紀末から独自の浮世絵が制作されるようになっていきました。その歴史は江戸に比べて短く、役者絵の比率が圧倒的に多いのも特徴の一つでした。江戸とは異なる、まったくとした世界観をお楽しみください。10時～18時 (12月21日(水)は20時まで) 開室、12月休室日: 29～31日 ☎03-3265-7061(直)

国立演芸場 (1階演芸資料展示室)
「浪曲展 ―国立劇場所蔵資料にみる」
12月1日(木)～令和5年3月21日(火・祝)



幕末に祭文や説経節、阿呆陀羅經を母胎とし、義太夫、清元、民謡など様々な音曲の旋律を加えることによって生まれた浪花節は、演者の個性が尊重される芸能です。今回は国立劇場所蔵の浪曲関連資料を展示するとともに国立演芸場の公演記録映像も上映し、浪曲の輝かしい歴史を追体験します。10時～17時開室、12月休室日: 21・22・26～31日 ☎03-3265-7061(直)

国立能楽堂 (1階資料展示室)
特別展「柴田是真と能楽 江戸庶民の視座」
開催中・12月23日(金)まで



幕末の町番絵師・町絵師で、明治時代には国内外の博覧会・展覧会でも活躍し、最初の帝室技芸員にも任命された柴田是真(1807～1891)と能楽の関係に初めて光を当てるとともに、海外で極めて高い評価を受ける足真作品も併せて展示します。11時～17時開室、休室日: 月曜日(祝日の場合は火曜日休室) ☎03-3423-1331(代)

国立文楽劇場 (1階資料展示室)
企画展示「文楽の花鳥風月」
同時開催「曾我過家五郎「喜劇」の誕生」
令和5年1月3日(火)～3月12日(日)

文楽の世界に表現された日本の花鳥風月をとおして、日本人の美意識と自然観を再確認する展示です。文楽の衣裳、小道具、舞台写真から、人々が昔から大事にしてきた自然美をご堪能いただきます。また、同時開催として国立演芸場で好評を得た曾我過家五郎関連の資料をご紹介します。上方喜劇の礎を築いた近代前期の喜劇王の生涯や業績に触れていただける展示です。どうぞお立ち寄りください。10時～18時開室 12月は開室日なし・1月休室日なし ☎06-6212-2531(代)

入場無料！
伝統芸能を
さらに深く
学べます。

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金（文化芸術振興費補助金）を財源とする助成事業を行っています。

今月のTOPICSはこちら



◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出せん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回（国内映画祭等の活動は年2回）、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

芸術文化振興基金ご支援（寄附）のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。

趣旨にご賛同頂き、格段の御協力、御支援をお願いいたします。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動（文化会館公演）	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動（美術館等展示）	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018



竹本聖太夫

— 文楽との出会い、文楽研修を受験したきっかけは？ —
私が文楽と出会ったのは、小学生の頃、父親から「本を読んで物語を伝えるみたいな芸能があつて、体験できるから行ってみたいか」と言われ、私の出身地の地方でやっている浄瑠璃保存会に連れて行かれた事が、文楽に出会うきっかけとなった一番初めの出来事です。その後、お世話になった方から、文楽の研修制度を紹介されて、研修を受験しました。

— 技芸員となつて1年あまり、いま感じていることは？ —
技芸員として迎え入れていただいて、少しずつ見えて来るもの



豊竹薫太夫

— 文楽との出会い、文楽研修を受験したきっかけは？ —
大学の文学部にいた頃に浄瑠璃を拝聴して、作品中の言葉全てを引き受け己の声で表現する太夫の在り方に憧れたことが、研修を受けようと思ったきっかけです。

— 豊竹薫太夫（文楽太夫） —
大学で文学部にいた頃に浄瑠璃を拝聴して、作品中の言葉全てを引き受け己の声で表現する太夫の在り方に憧れたことが、研修を受けようと思ったきっかけです。

第32期文楽研修生（令和5年4月開講）

応募・相談・見学受付中

▶ 国立文楽劇場企画制作課養成係 ☎ 06-6212-5529（直通）

平日10時～18時 お気軽にお問い合わせください。

✉ bunraku2021@ntj.jac.go.jp



◎歌舞伎俳優・能楽（三役）研修生も募集中です！
▶ 募集要項等、詳細はホームページをご覧ください

研修だより

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

令和3年3月に文楽研修を修了した

文楽技芸員2名に近況を伺いました

（第29期文楽研修修了）

竹本聖太夫（文楽太夫）

— 文楽との出会い、文楽研修を受験したきっかけは？ —

私が文楽と出会ったのは、小学生の頃、父親から「本を読んで物語を伝えるみたいな芸能があつて、体験できるから行ってみたいか」と言われ、私の出身地の地方でやっている浄瑠璃保存会に連れて行かれた事が、文楽に出会うきっかけとなった一番初めの出来事です。その後、お世話になった方から、文楽の研修制度を紹介されて、研修を受験しました。

— 技芸員となつて1年あまり、いま感じていることは？ —
聞いてくださるお客様のことを、芯から揺り動かすような浄瑠璃を語れるようになりたいです。そのために声作りに取り組んで、自分の出来る表現の幅を少しでも広げていこうと思っています。

未来へつなぐ国立劇場プロジェクト

多くの皆様にご愛顧いただいてまいりました
国立劇場、国立演芸場、伝統芸能情報館は、
再整備のため令和5年10月末に一旦閉場・閉館し、
令和11年秋に新施設として生まれ変わります。

COMING SOON!

▶令和5年1月邦楽公演
『邦楽名曲選Ⅱ 鎌倉～安土桃山』 1月14日(土)
『邦楽名曲選Ⅲ 江戸～明治』 1月28日(土)

シリーズ「邦楽名曲選」では、全3回にわたり、様々な時代を取り
扱った邦楽作品をお届けします。近世邦楽に描かれた歴史の多彩な
時代相を、第一線で活躍する実力者による演奏でお楽しみ下さい。

▶1月民俗芸能公演『祭りの四季』 1月21日(土)

季節感あふれる各地の民俗芸能から、祭礼の雰囲気をお楽しみいた
だきます。神楽や田楽、傀儡など異なるジャンルで構成し、四季を
通じて、日本の芸能の豊かさをご堪能ください。

〔電話・インターネット予約〕12月18日(日)10時より
〔窓口販売〕12月19日(月)より

▶国立演芸場でも「初代国立演芸場さよなら公演」と題して上席・
中席・特別企画・名人会など魅力ある舞台をお届けします。

STAGE TOUR, LECTURE, PERFORMANCE

「初代国立劇場」の「劇場施設」としての魅力を
皆様の記憶に留めていただきたい2日間!

実施日 12月11日(日)▶12日(月)
会場 国立劇場大劇場
料金 ①500円 ②1,000円 ③1,000円
※②③に参加の場合は参加日の①が必要です。

お問合せ先 国立劇場営業部営業課
☎03-3265-6751 (平日9時30分～18時15分)

① ロビー見学

大劇場のロビーを一日開放! 音声
ガイドアプリ(日本語・English)
で解説を聞きながら、ロビーや客
席を探索します。

② ステージツアー

花道・廻り舞台・黒御簾など歌舞
伎を上演する大劇場の機構を体感
できる舞台見学ツアーです。

③ 平櫛田中=作『鏡獅子』レクチャー&デモンストレーション

1階ロビー正面「鏡獅子」像前に舞台と簡易着席スペースを特設。彫刻家・平
櫛田中につわる貴重な講演と長唄・囃子の迫力ある演奏をお楽しみください。

年末年始のチケットのお取り扱いについて

年末年始におけるチケット販売について、下記の期間は休業となります。

▶国立劇場チケットセンター休業期間

《電話予約》12月29日(木)～1月1日(日)
《各会場チケット売場》

国立劇場 12月29日(木)～1月2日(月)
国立演芸場 12月26日(月)～1月1日(日)
国立能楽堂 12月29日(木)～1月3日(火)
国立文楽劇場 12月29日(木)～1月2日(月)

※インターネット販売は通常通りご利用いただけます。

▶国立劇場おきなわチケットカウンター休業期間

窓口・電話予約 12月29日(木)～1月3日(火)
※インターネット販売は通常通りご利用いただけます。

▶新国立劇場ボックスオフィス営業

12月30日(金)～1月4日(水)は、窓口・電話・インターネット
販売で営業時間変更およびサービスの休止がございます。
詳細はウェブサイトでご確認ください。

日本芸術文化振興会ニュース 令和4年12月号

令和4年11月20日発行(毎月1回20日発行)
通巻653号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656
東京都千代田区隼町4-1
☎03-3265-7411(代表)
https://www.ntj.jac.go.jp
印刷 勝美印刷株式会社

- 国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1 ☎03-3265-7411(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/
- 国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html
- 国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html
- 新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011(代表) https://www.nntt.jac.go.jp/
- 国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311(代表) https://www.nt-okinawa.or.jp/

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。

JAPAN CULTURAL EXPO

「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下
に、日本の美を体感する美術展・舞台芸術公演・
芸術祭などを、年間を通じ、全国各地で展開して
います。https://japanculturalexpo.bunka.go.jp

縄文デイズ JOMON DAYS～縄文文化×SDGsで日本の未来を考えよう～

日程 | 10月1日(土)～令和5年1月9日(月・祝)
会場 | 東急プラザ銀座4F(東京都中央区)

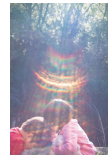
世界遺産に登録された三内丸山遺跡の出土品が、東京・銀座に
やってきます。約140点の土器・土偶など展示のほかVRや映
像で、縄文時代とSDGsを楽しく学べます。



三内丸山遺跡出土土器
(前期・中期)

川内倫子：M/E 球体の上 無限の連なり

東京オペラシティ | 10月8日(土)～12月18日(日)
アートギャラリー | 10月8日(土)～12月18日(日)
滋賀県立美術館 | 令和5年1月21日(土)～3月26日(日)



《無題》(シリーズ「M/E」より)
川内倫子 2020年

柔らかい光をはらんだ淡い色調を特徴とし、人間や動物、
あらゆる生命がもつ神秘や輝き、儚さ、力強さを撮り続け
る写真家・川内倫子(1972-)の個展。

第43回世界遺産劇場「醍醐寺」密教と文化ー自然と文化の協奏

日程 | 12月17日(土)、12月18日(日)
会場 | 総本山醍醐寺・霊宝館(京都市)

【17日】講演/中西進、声明/醍醐寺、朗読劇/浪川大輔、
増田俊樹、上田瞳 【18日】声明/醍醐寺、能/大槻文蔵、
トークフォーラム/福岡伸一、古市憲寿、仲田順英



講座・動画配信

詳細は日本芸術文化振興会ホームページをご確認ください

第35回伝統芸能講座「玉川奈々福+木ノ下裕一セレクト 国立演芸場の演曲の名演を観る!」

講師 玉川奈々福(浪曲師)、木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)
日時 令和5年1月12日(木)14時～16時
場所 伝統芸能情報館3階レクチャー室
受講料 1,000円(税込) **募集人数** 100名(先着順/予約制)
◎応募方法等の詳細はホームページまたはこちらから →

《国立文楽劇場》文楽プレミアムシアター 第7回

演目 「本朝廿四孝」十種香の段・奥庭狐火の段
(昭和63年4月 国立文楽劇場) カラー
出演 竹本越路太夫(四代)、鶴澤清治、吉田玉男(初代)、
吉田賛助(三代)、吉田文雀 他
販売期間 12月1日(木)11時～12月21日(水)23時59分
※視聴期間は、レンタル日から2週間です。
視聴料金 2,500円(税込) **配信サイト** MIRAIL(ミレール)

あなたも日本の文化芸術を支える「^{パトナー}立役者」になりませんか。

●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。
「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」
を応援できます。

- お問合せ先 基金部企画調査課
- 電 話 03-3265-6302(平日10時～18時)
- E-mail kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



復興創造基金の
ご案内ページはこちら!

●くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館を応援!
様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、調査研究等の充実
を支援できます。

- お問合せ先 くろごちゃんファンド寄附担当
- 電 話 03-3265-6719(平日10時～18時)
- E-mail donation@ntj.jac.go.jp



くろごちゃんファンドの
ご案内ページはこちら!